




船木小 実践④	社会科・総合的な学習・家庭科 田植え、稲刈り体験を通して		
実施日時	5月から12月	実施場所	教室・家庭科室・田んぼ
対象	5年生	指導者	栄養教諭 ・ 担任 ・ (地域の方)
視点	・食事の重要性 ・感謝の心 ・心身の健康 ・社会性 ・食文化 ・食品を選択する能力		
ねらい	学習や体験を通して、米作りの苦労や工夫、日本の農業や水産業の現状と課題について学び、自分たちにできることを考え、実践しようとする気持ちを育てる。		
内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 5月～10月 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の観察する田んぼを決め、毎週末観察したことや気づいたことを観察ノートに記入することに継続して取り組み、最後にまとめた。(田おこし～稲刈りまで) ○ 6月 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の指導を受けながら、田植えをした。 ○ 9月～10月 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方の指導を受けながら、稲刈りと「はぜかけ」をした。 ・観察したことをもとに「米作りカレンダー」を作った。 ・社会科の学習で、日本の農業・水産業の現状と課題、日本の食料自給率などについて学習した。 ○ 12月 <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習で、自分たちで収穫したお米を炊いて食べた。 	  	
児童 の感想	<p><田植え体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ だるだるした田んぼに入るのは初めはとまどったが、教えていただいたようにやってみたら、苗を植えることができうれしかった。 ○ ずっと腰を曲げて作業するのは大変だと分かった。 <p><稲刈り体験></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの植えた苗がこんなに育っていてうれしい。食べてみたい！ ○ 手作業は大変だが、機械を使うとあっという間に稲が刈られていくのに驚いた。 		
成果と 課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 給食で使われている食材に興味を持ち、米の品種を栄養教諭に尋ねたりするなど、自分たちに身近な食生活について関心を持つことができた。 ○ 学習や体験を通して、興味を持ったことについて(米の産地と品種・スーパーで生鮮食品の産地調べ・船木のライスセンターを尋ねて聞いたこと・米粉を使った食品・スマート農業など)調べたことを「自主学習ノート」に書いてみんなに発表するなど、米作りに限らず食品ロスの問題、地産地消、食料自給率など日本の食生活、食料生産全般について関心をもつことができた。 		